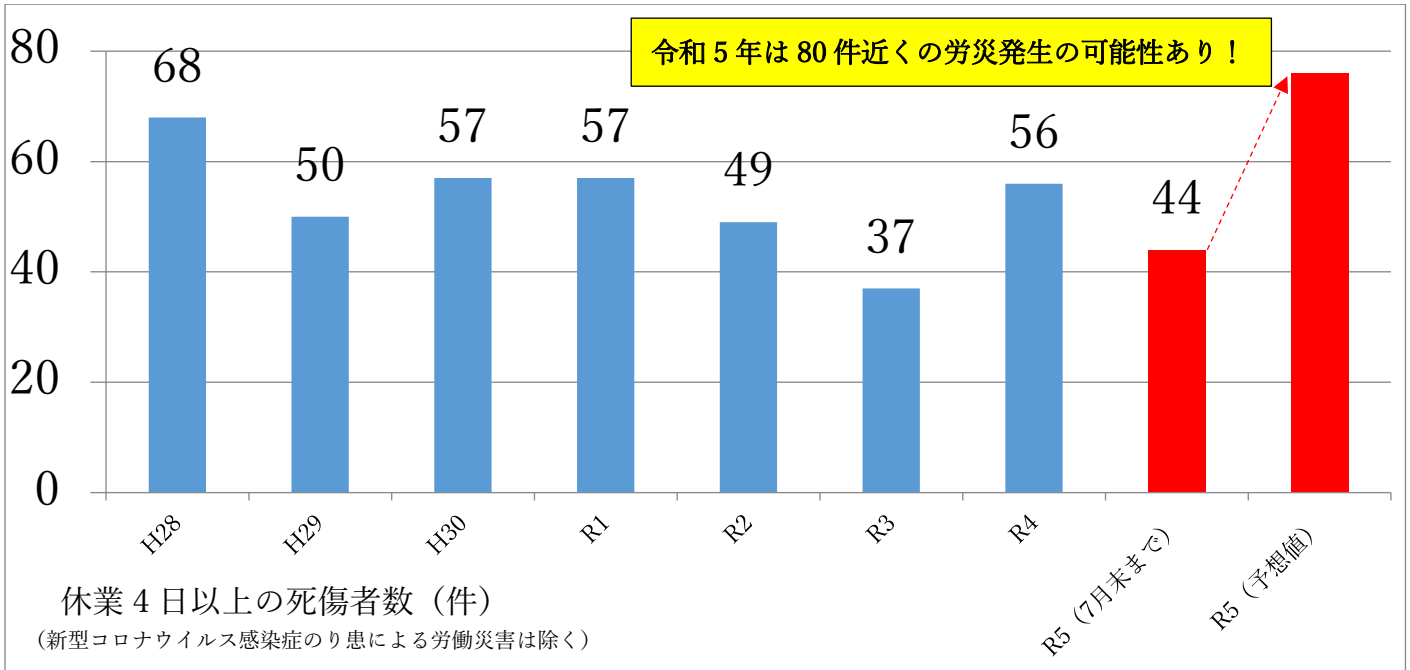
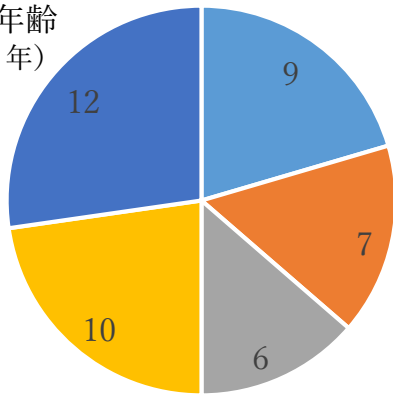


製造業の労働災害が多発しています！

令和5年、上田労働基準監督署管内で製造業を中心として労働災害の発生件数が急増しています。製造業の労働災害発生件数は7月末時点で近年最少であった年間37件を上回る44件となっており、このペースが続けば年間80件近くの労働災害発生が予想されます。



被災者年齢
(令和5年)

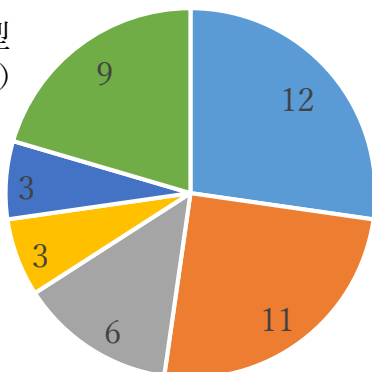


■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

被災者の年齢は60代以上が最大で12件となっており、50代以上の労働者で全体の半数を占めています。

上田労働基準監督署管内では令和4年、製造業、全業種共に50代以上の労働者が被災した災害が全体の半数程度でした。

事故の型
(令和5年)



■ 転倒 ■ はさまれ・巻き込まれ ■ 無理な動作 ■ 墜落・転落 ■ 激突 ■ その他

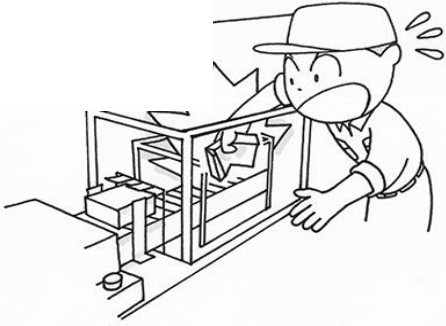
事故の型としては

「転倒」が12件で最多、続いて「はさまれ・巻き込まれ」の11件です。

製造業の労働災害の事故の型としては「転倒」「はさまれ・巻き込まれ」が全国的に多く見られます。



はさまれ・巻き込まれ災害の典型的な事例



- ・機械の運転を停止せずに機械の清掃等の作業を行おうとした。
- ・原材料が目詰まりなどの機械のトラブルの際に、思わず手を出した。
(どちらも労働安全衛生規則第 107 条違反となる可能性があります！)

転倒災害防止のために

設備管理面の対策

[4S(整理・整頓・清掃・清潔)]

- ◆ 歩行場所に物を放置しない
- ◆ 床面の汚れ(水、油、粉等)を取り除く
- ◆ 床面の凹凸、段差等の解消



転倒しにくい作業方法

[あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて]

- ◆ 時間に余裕を持って行動
- ◆ 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- ◆ 足元が見えにくい状態で作業しない



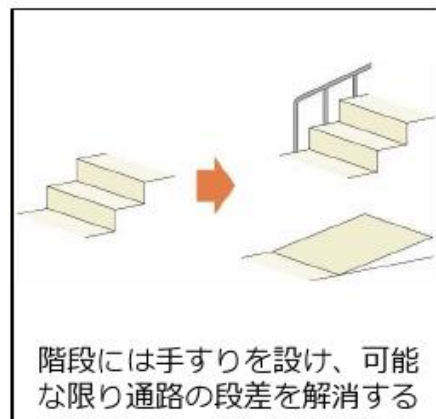
その他の対策

- ◆ 作業に適した靴の着用
- ◆ 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- ◆ 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起



転倒災害の原因は大きく滑り、つまずき、踏み外しに分けられます。それぞれの原因ごとに必要な対策を行いましょう。

高齢労働者の労働災害防止のために



エイジフレンドリーガイドラインに基づき、働く高齢者の特性に配慮した職場環境の改善対策を取りましよう！